管理者コンソール > ユーザー管理 > ディレクトリ-コネクタ

OneLoginと同期



OneLoginと同期

この記事は、OneLoginディレクトリからBitwarden組織へのユーザーとグループの同期を開始するためのDirectory Connectorの使用方法を説明します。

API資格情報を作成する

Directory Connectorは、あなたのディレクトリに接続するためにOneLoginが生成したAPI資格情報の知識が必要です。次の手順を完了して、Directory Connectorの使用に必要なAPI資格情報を作成および取得します:

- 1. あなたのOneLogin管理者ポータル(https://yourdomain.onelogin.com/管理者) から、ナビゲーションメニューから開発者 → API認証情報を選択してください。
- 2. 新しい資格情報ボタンを選択し、資格情報にBitwarden固有の名前を付けてください(例えば、bitwarden-dc)。
- 3. ユーザーを読むラジオボタンを選択して、ユーザーフィールド、役割、およびグループの読み取り権限を付与し、保存を選択します。
- 4. 生成された**クライアントID**と**クライアントシークレット**をコピーしてください。これらをいつでも表示に戻ることができます。

あなたのディレクトリに接続してください。

次の手順を完了して、Directory ConnectorをOneLoginディレクトリで使用するように設定します:

- 1. ディレクトリコネクタデスクトップアプリを開いてください。
- 2. 設定タブに移動してください。
- 3. **タイプ**のドロップダウンから、**OneLogin**を選択してください。 このセクションで利用可能なフィールドは、選択したタイプによって変わります。
- 4. OneLoginから取得したクライアントIDとクライアントシークレットを入力してください。
- 5. リージョン ドロップダウンから、あなたの地域を選択してください。

同期オプションを設定する

Q Tip

When you're finished configuring, navigate to the **More** tab and select the **Clear Sync Cache** button to prevent potential conflicts with prior sync operations. For more information, see Clear Sync Cache.

次の手順を完了して、Directory Connectorを使用して同期する際に使用する設定を構成します:

- 1. ディレクトリコネクタデスクトップアプリケーションを開きます。
- 2. 設定タブに移動してください。
- 3. 同期セクションで、必要に応じて以下のオプションを設定します:

オプション	説明
間隔	自動同期チェック間の時間(分単位)。
同期中に無効なユーザーを削除します	あなたのディレクトリで無効にされたユーザーをBitwarden組織から削除するためには、 このボックスをチェックしてください。



オプション	説明
現在の同期設定に基づいて既存の組織ユーザーを上書きします	このボックスをチェックすると、常にフル同期を実行し、 同期されたユーザーセットにいない場合はBitwarden組織からユーザーを削除します。 OneLoginディレクトリに推奨されます。
2000人以上のユーザーまたはグループが同期することが予想されます。	このボックスをチェックしてください、 もし2000以上のユーザーまたはグループを同期する予定がある場合。 このボックスをチェックしないと、 Directory Connectorは同期を2000ユーザーまたはグループに制限します。
ユーザーがメールアドレスを持っていない場合、 ユーザー名の接頭辞と接尾辞の値を組み合わせてメールアドレスを作成します。	このボックスをチェックして、 メールアドレスを持っていないユーザーのための有効なメールアドレスのオプションを作成します。 ディレクトリコネクターは、 実際のまたは形成されたメールアドレスを持たないユーザーをスキップします。 形成されたメール = ユーザー名 + メール接尾辞
メールアドレスの接尾辞	メールアドレスを作成するために使用される文字列(@example.com))は、 形成されたメールアドレスの接尾辞を作成します。
ユーザーを同期する	このボックスをチェックして、ユーザーをあなたの組織と同期させてください。 このボックスをチェックすると、 ユーザーフィルタ を指定することができます。
ユーザーフィルター	同期フィルターを指定してください。
グループを同期する	このボックスをチェックして、グループをあなたの組織と同期します。 このボックスをチェックすると、グループフィルタを指定することができます。 ご注意ください、Directory ConnectorはOneLoginの 役割 の値を使用してBitwardenグループを作成します。
グループフィルター	同期フィルターを指定してください。
日期ファルターを指定してください	

同期フィルターを指定してください

ユーザーのメールアドレスまたはグループに基づいて同期から含めるか除外するために、カンマ区切りのリストを使用してください。

① Note

Directory Connector will create Bitwarden groups based on OneLogin Roles, not OneLogin Groups.

ユーザーフィルター

メールアドレスに基づいて特定のユーザーを同期に含めるか除外するには:



Bash

include:joe@example.com, bill@example.com, tom@example.com

Bash

exclude:joe@example.com,bill@example.com,tom@example.com

グループフィルター

① Note

Syncing nested groups is not supported by OneLogin.

OneLoginの役割に基づいてグループを同期から含めたり除外したりするには:

Bash

include:Role A,Role B

Bash

exclude:Role A,Role B

同期をテストする

∏ Tip

同期をテストまたは実行する前に、Directory Connector が正しいクラウドサーバー(例: US または EU)、あるいは自己ホスト型サーバーに接続されていることを確認します。 デスクトップアプリまたは CLI を使用して、方法を確認します。

Directory Connectorがあなたのディレクトリに成功裏に接続し、希望のユーザーとグループを返すかどうかをテストするには、**ダッシュボード**タブに移動し、 **今すぐテスト**ボタンを選択します。成功した場合、ユーザーとグループは、指定された同期オプションとフィルターに従って、ディレクトリコネクタウィンドウに表示されます。



TESTING
You can run tests to see how your directory and sync settings are working. Tests will not sync to your Bitwarden organization. ** Test Now Test since the last successful sync
Users a cap@test.com b hulksmash@test.com ironman76@test.com mjolnir_rocks@test.com
Disabled Users No users to list.
Deleted Users No users to list.
Groups ♣ Avengers • cap⊕test.com • hulksmash@test.com • ironman76@test.com • mjolnir_rocks@test.com

同期のテスト 結果

自動同期を開始します

一度同期オプションとフィルターが希望通りに設定されたら、同期を開始できます。次の手順を完了して、ディレクトリコネクターとの自動同期を開始します:

- 1. ディレクトリコネクタデスクトップアプリを開きます。
- 2. ダッシュボードタブに移動してください。
- 3. 同期セクションで、同期開始ボタンを選択します。

 あなたは代わりに今すぐ同期ボタンを選択して、一回限りの手動同期を実行することもできます。

Directory Connectorは、設定された同期オプションとフィルターに基づいて、あなたのディレクトリのポーリングを開始します。

アプリケーションを終了または閉じると、自動同期は停止します。ディレクトリコネクタをバックグラウンドで実行し続けるには、アプリケーションを最小化するか、システムトレイに隠してください。

① Note

Teams Starter プランの場合、メンバーは10人に制限されます。10人以上のメンバーを同期しようとすると、Directory Connector はエラーを表示して同期を停止します。